



平成11年4月27日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 制御棒ハンドル部のガイドローラに発見されたひびについて

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉；電気出力110万キロワット）は、本年4月4日より第17回定期検査を実施しておりますが、制御棒の配置替えのため外観点検を行っていたところ、制御棒1本のハンドル部のガイドローラ近傍に線状模様が認められました。このため、同型の制御棒24本の当該部について点検を行った結果、制御棒12本に同様の線状模様が認められ、これらはひびによるものであることが確認されました。

原因については、今後詳細点検を行ってまいります。

なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

また、資源エネルギー庁による国際原子力事象評価尺度（INES）暫定評価では、レベル0とされています。

以上

添付資料1 制御棒概要図

